

# 全国肺癌登録調査：2010年肺癌手術症例に対する登録研究

## 1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院および参加施設において、2010年1月1日から2010年12月31日の間に、原発性肺癌に対して治療を目的とした手術を行った患者さん。

## 2. 研究目的・方法

### 【目的】

本邦における肺癌の統計および調査を行うことにより、肺癌に関する研究ならびに診療の進歩・普及を図ることを目的としています。

### 【方法】

#### （症例登録）

対象となる患者さんを、インターネットを使用しオンラインにて登録を行います。連結可能匿名化を行うための対比表（施設内カルテIDと肺癌登録IDとの紐付け）の管理方法はUSBメモリーにて保持し、このUSBメモリーは鍵をかけた状態で各施設の責任の下に保存します。なお、このUSBメモリーは固有のシリアルキーにて暗号化され、他のUSBメモリーにコピーしたり、USBメモリーを所有している施設以外にデータが流出しても事務局から各施設に送付されたUSBメモリー本体がなければ復号化できない仕組みです。

#### （解析）

登録資料の解析担当者は匿名化した登録資料を用いて、手術成績をもとにさまざまな予後因子の解析を行います。その結果を学術論文として発表するとともに、肺癌病期分類改訂のための資料として使用します。

#### （登録業務の公開）

本登録は、日本呼吸器外科学会、日本肺癌学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会のホームページで登録業務を公開します。

#### （研究期間）

3年間

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、性別、病歴、手術内容、病理組織検査結果、予後 等

資料：なし

#### 4. 外部への試料・情報の提供・公表

(外部への情報の提供)

対象となる患者さんを、インターネットを使用しオンラインにて登録を行います。連結可能匿名化を行うための対比表（施設内カルテ ID と肺癌登録 ID との紐付け）の管理方法は USB メモリーにて保持し、この USB メモリーは鍵をかけた状態で各施設の責任の下に保存します。なお、この USB メモリーは固有のシリアルキーにて暗号化され、他の USB メモリーにコピーしたり、USB メモリーを所有している施設以外にデータが流出しても事務局から各施設に送付された USB メモリー本体がなければ復号化できない仕組みです。

(公表)

登録資料の解析担当者は匿名化した登録資料を用いて、手術成績をもとにさまざまな予後因子の解析を行います。その結果を学術論文として発表するとともに、肺がん病期分類改訂のための資料として使用します。

#### 5. 研究組織

本研究は呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設の中での参加希望施設（2004 年の前回調査では 256 施設が参加）による他施設共同研究です。

(研究代表者)

吉野一郎

肺癌登録合同委員会委員長

千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学

(研究事務局)

奥村明之進

肺癌登録合同委員会事務局長

大阪大学大学院医学系研究科外科系臨床医学専攻

外科学講座呼吸器外科学教授

【肺癌登録合同委員会ホームページ】

<https://haigan-touroku.jp/index.html>

#### 6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 呼吸器外科 朝倉啓介

TEL 03-3542-2511 / FAX 03-3542-3815

研究責任者：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 呼吸器外科 渡辺俊一

TEL 03-3542-2511 / FAX 03-3542-3815

研究代表者

吉野一郎

肺癌登録合同委員会委員長

千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学